

# 誇り高き二人の王 ヒュダスペス川の戦い

「5つの川」を意味するパキスタン・パンジャーブ。インダス川とその4つ支流に囲まれた肥沃な地域です。シルクロード英雄列伝第9回は、この支流のひとつヒュダスペス川で繰り広げられた、二人の王の戦いのお話です。

## アレキサンダー大王とポロス王

紀元前334年、故郷マケドニアを発ったアレキサンダー大王は、5年の歳月をかけてソグディアナに到着しました。ここで約2年間、地元住民の徹底抗戦に合いますが、平定の後、インドウークシユ山脈を越えてインドへと入ります。そして紀元前326年、現在のパキスタン北東部に位置するヒュダスペス川(現ジェラム川)のほとりで、東方遠征後半の大きな戦いを交えることになりました。

インドウークシユを超えて北から進軍したアレキサンダー大王は、タキシラの王と手を結びます。当時タキシラより南一帯を支配していたポロス王は

長年タキシラと敵対関係にありましたが。ポロス王は、タキシラが北方から来た外部勢力であるアレキサンダー大王の軍と手を結んだことを警戒し、カシミールの王・アピサレスと結束し、アレキサンダー大王の軍の南下を阻止すべくヒュダスペス河畔に陣を張りま

す。ポロス王は、身長が2メートルを超える勇猛な戦士でもありました。そして、200頭の戦象を擁する大軍を持って、アレキサンダー大王を迎え撃ったのです。

戦況は、河の上流を密かに渡り、ポロス王の軍の背後に回ったアレキサンダー大王の軍が優勢に回りますが、ポロス王は戦象に乗って最後まで徹底抗戦を続けました。劣勢になっても勇敢

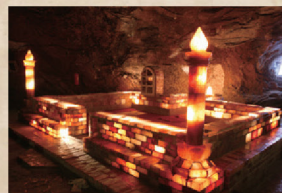
に戦い続けるポロス王の姿を見て、アレキサンダー大王は使者を送り降伏を進言します。なかなか降伏を受け入れないポロス王でしたが、最後にポロス王の友が使者として赴き、その進言を受け入れてアレキサンダー大王に降伏します。



ラホールとイスラマバードの間に流れるヒュダスペス川(現ジェラム川)の風景。

## COLUMN アレキサンダー大王ゆかりの塩鉱山・ケウラ

ジェラム地区に位置するケウラ岩塩鉱山は、アレキサンダー大王の軍馬が岩塩をなめ、その場からなかなか動こうとしなかったことから発見されたと言われています。イギリス植民地時代に採掘が進められ、現在はトロックで見学できる観光スポットになっています。



塩鉱山に造られた岩塩のモスク

アレキサンダー大王の前に立ち、処遇の希望を問われたポロス王は一言、「王として待遇せよ」と答えました。

答えの真偽を測りかねたアレキサンダー大王は再度問います。ポロス王は「すべてはこの答えの中にある」とだけしか答えませんでした。

ポロス王のこの「王として待遇せよ」という言葉は、「私は王なので殺さないうで欲しい」という意味ではなく、「私は王なので、殺すのであれば王としてふさわしい死に方で殺して欲しい」という意味であったと私は思います。事実、この言葉の中にポロス王の誇りを見たアレキサンダー大王はその後、彼の領土の安全を保証し、彼を友人として迎え入れました。そしてポロス王は、その後の大王のインド戦役に従軍することになったのです。

## 愛馬ブーケファラスの死

ヒュダスペス川の戦いでは、もうひとつアレキサンダー大王にとって大きな出来事が起こります。愛馬ブーケファラスが戦いの最中に命を落としたのです。誰も乗りこなすことができなかった「雄牛の頭」という名前を持つブーケファラス。アレキサンダー大王はマケドニアを出て以来、全ての合戦をこの馬と共に戦ったのです。オリバー・ストーン監督の映画「アレキサンダー」では、ヒュダスペス川の戦いで命を落とすブーケファラスの姿が登場します。大王を守るかのように後ろ足で立って戦い続ける姿は、主人に対するブーケファラスの想いそのもののシーンです。

パキスタンを訪れた際、ラホールからイスラマバードへと向かう道中ヒュダスペス川(現ジェラム川)を渡ります。この川の橋を渡る時いつも、2300年前に生きた誇り高き王、愛馬を亡くした大王の想い、そして世界史を一瞬にして駆け抜けたアレキサンダー大王自身のことを思い出さずにはられません。

## 関連ツアーのご紹介

カラチから上部フンザまでパキスタンを大縦断! 東京発着 | 16日間  
秋の大パキスタン紀行

パキスタンの遺跡と世界遺産を巡る 東京・大阪発着 | 11日間  
シンド・パンジャーブ紀行

マケドニアの首都スコピエの広場に建つアレキサンダー大王と愛馬ブーケファラスの像。



イッソスの戦いに於けるアレクサンダー大王とブーケファラスが彫られた石棺のレリーフ(部分) [レバノン出土/イスタンブール考古学博物館蔵]

愛馬を亡くしたアレキサンダー大王はその死を嘆き、ヒュダスペス河畔に「アレキサンドリアブーケファラ」という名の町を建て、残り少ない遠征に向かったのです。

